令和８年度全国中学校体育大会

第６４回全国中学校スキー大会要項

１　目　　的　　本大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスキー実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。

２　主　　催　（公財）日本中学校体育連盟　　（公財）全日本スキー・スノーボード連盟　　長野県教育委員会
野沢温泉村教育委員会

３　主　　管　長野県中学校体育連盟　　（公財）長野県スキー連盟　　北信地区中学校体育連盟
中高飯水中学校体育連盟

４　後　　援　スポーツ庁　　全日本中学校長会　　全国都道府県教育長協議会
全国市町村教育委員会連合会　　（公社）日本ＰＴＡ全国協議会
日本私立中学高等学校連合会　　ＮＨＫ　　全国新聞社事業協議会
長野県　　野沢温泉村　　長野県中学校長会　　中高飯水中学校長会
長野県市町村教育委員会連絡協議会　　「スノーリゾート信州」プロモーション委員会
（公財）長野県スポーツ協会　　株式会社野沢温泉　　野沢温泉スキークラブ
信濃毎日新聞社　　SBC 信越放送　　NBS 長野放送　　TSB テレビ信州　　abn 長野朝日放送

５　協　　力　陸上自衛隊第 13 普通科連隊（松本駐屯地）

６　特別協賛　大塚製薬株式会社　菅公学生服株式会社　北野建設株式会社

７　会　　期　令和９年２月２日（火）～４日（木）　スペシャルジャンプ　ノルディックコンバインド
令和９年２月２日（火）～５日（金）　アルペン　クロスカントリー

８　会　　場　（１）ア　　ル　　ペ　　ン　　野沢温泉スキー場カンダハーコース
（２）ジ　　ャ　　ン　　プ　　野沢温泉シャンツェ
（３）コンバインドクロスカントリー　　野沢温泉南原クロスカントリーコース
（４）ク　ロ　ス　カ　ン　ト　リ　ー　　野沢温泉南原クロスカントリーコース

９ 実施要項

（１）競技種目　　男　　子･･･スラローム、ジャイアントスラローム
スペシャルジャンプ（ヒルサイズ 61m/k=55m）
ノルディックコンバインド（ヒルサイズ 61m/k=55m、５km フリー）
クロスカントリー（５km クラシカル、５km フリー）、リレー（４人×５km）
女　　子･･･スラローム、ジャイアントスラローム
スペシャルジャンプ（ヒルサイズ 61m/k=55m）
ノルディックコンバインド（ヒルサイズ 61m/k=55m、2.5km フリー）
クロスカントリー（３km クラシカル、３km フリー）、リレー（４人×３km）

（２）競技日程

月　日	時　刻	内　　容	会　　場
２月　１日(月)	16:00	監督・コーチ会議（アルペン）	野沢温泉村公民館
２月　２日(火)	競技開始前	アルペン競技開始式	野沢温泉スキー場カンダハーコース
	9:30	男子ジャイアントスラローム	野沢温泉スキー場カンダハーコース
	8:00	監督・コーチ会議（ジャンプ）	野沢温泉シャンツェ
	9:00	男女スペシャルジャンプ公式練習	野沢温泉シャンツェ
	引き続き	男女コンバインドジャンプ公式練習	野沢温泉シャンツェ
	引き続き	PCR(予備ラウンド)	野沢温泉シャンツェ
	13:00	監督・コーチ会議（クロスカントリー）	野沢温泉村公民館
２月　３日(水)	9:30	女子ジャイアントスラローム	野沢温泉スキー場カンダハーコース
	競技開始前	ジャンプ競技開始式	野沢温泉シャンツェ
	9:00	男女スペシャルジャンプ	野沢温泉シャンツェ

2月 3日(水)	競技開始前	クロスカントリー競技開始式	野沢温泉南原クロスカントリーコース
	9:30	女子クロスカントリー（クラシカル）	野沢温泉南原クロスカントリーコース
	11:00	男子クロスカントリー（クラシカル）	野沢温泉南原クロスカントリーコース
2月 4日(木)	9:30	男子スラローム	野沢温泉スキー場カンダハーコース
	9:00	男女コンバインドジャンプ	野沢温泉シャンツェ
	14:00	男女コンバインドクロスカントリー	野沢温泉南原クロスカントリーコース
	9:30	女子クロスカントリー（フリー）	野沢温泉南原クロスカントリーコース
	11:00	男子クロスカントリー（フリー）	野沢温泉南原クロスカントリーコース
2月 5日(金)	9:30	女子スラローム	野沢温泉スキー場カンダハーコース
	9:00	女子リレー	野沢温泉南原クロスカントリーコース
	11:00	男子リレー	野沢温泉南原クロスカントリーコース

＊開・閉会式は行わない。表彰は、種目ごと競技終了後に準備が整い次第現地にて行う。
＊悪天候等への対応で、各種目の競技日が、各競技の大会会期内で変更になる場合がある。

（3）競技方法
①（公財）全日本スキー・スノーボード連盟規則最新版による。但し本大会要項に定めるものを優先する。
②アルペン競技とスペシャルジャンプ競技、ノルディックコンバインド競技、クロスカントリー競技（リレー含む）を同一選手が兼ねることはできない。
③アルペン競技の２本目は、出場人数を制限する場合がある。
④ノルディックコンバインド競技において、ＰＣＲ（予備ラウンド）を採用することもある。
⑤コンバインドクロスカントリーは、グンダーセン方式で行う。
⑥コンバインドクロスカントリーは、フリー走法とする。
⑦男女のリレーは、都道府県対抗とし、各７名以内（走者４名）で構成する。また、第１・第２走者はクラシカル走法、第３・第４走者はフリー走法とする。

10 参加資格
（1）参加者は、都道府県中学校体育連盟に加盟した中学校に在籍すること。

（2）各都道府県中学校体育連盟において選考された者で、当該競技要項により全国大会参加資格を得た者に限る。

（3） 年齢は、平成 23 年（2011 年）４月２日以降に生まれた者に限る。

（4） 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、その年度の６月３０日までに、都道府県中学校体育連盟を通して、（公財）日本中学校体育連盟に申し出ること。

（5）参加資格の特例
① 学校教育法 134 条の各種学校在籍生徒
a 学校教育法 134 条の各種学校（1 条校以外）に在籍し、都道府県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
b 参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
ア 全国大会の参加を認める条件
（ア）（公財）日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
（イ）生徒の年令及び修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
（ウ）参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
イ 全国大会に参加した場合に守るべき条件
（ア）全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
（イ）全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長・教員または部活動指導員が生徒を引率すること。また万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
（ウ）大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。

② 地域クラブ活動に所属する中学生
a 地域クラブ活動に所属し、都道府県中学校体育連盟またはブロック中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。

b　全国中学校体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。

ア　全国中学校体育大会の参加を認める条件

（ア）（公財）日本中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

（イ）生徒の年令及び修業年限が我が国の中学校と一致している。（中学校に在籍している生徒であること）

（ウ）地域クラブ活動にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。

（エ）『部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン』（令和７年１２月文部科学省）を遵守していること。

（オ）当該競技を管轄する中央競技団体もしくは都道府県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で都道府県中学校体育連盟に登録していること。（登録費については、都道府県中学校体育連盟の方針による）

（カ）都道府県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。

（キ）地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。

イ　全国中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件

（ア）全国中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

（イ）全国中学校体育大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者もしくは指導資格を有する指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

（ウ）全国中学校体育大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。

（エ）団体競技における地域クラブ活動名での出場は１チームのみとする。（複数のチームの参加はできない）

ウ　参加を認めない場合

（ア）全国中学校体育大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

エ　令和8年度スキー競技部細則

各都道府県予選大会を含む全国中学校体育大会の参加について以下の条件の下、地域クラブ活動の参加を認める。また、各予選大会の実施方法、参加方法については、各都道府県中学校体育連盟の開催基準に従うことを条件とする。

（ア）参加する地域クラブ活動においては、本大会に出場するために設立されたものではなく、「地域」における継続的なスポーツ活動を確保しようとする目的のものであること。

（イ）都道府県中体連の登録について

①参加を希望する地域クラブ活動の所在地と主な活動場所は、予選大会に参加を希望する都道府県中学校体育連盟と同一であること。

②参加を希望する都道府県の中学校体育連盟の審査を受け、承認されて予選大会に参加していること。

（ウ）指導者について

①指導者は、「令和8年度全国中学校体育大会運営の基本と大会開催基準」の趣旨を理解し、学校教育活動の一環であること、大会参加の目的が競技力強化ではなく競技普及であることを理解し指導にあたっていること。

②全日本スキー・スノーボード連盟が認定する、「JSPO 公認スポーツ指導者スキー・スノーボードコーチ1」の資格を有する指導者が、年間を通じて日常持続的に指導に当たっていることが望ましい。

③地域クラブ活動の指導者は、他の地域クラブ活動の指導者や、中学校の外部指導者として各都道府県予選大会を含む全国中学校体育大会へ参加できない。

（エ）全日本スキー・スノーボード連盟への登録

①地域クラブ活動に所属する選手は、全日本スキー・スノーボード連盟会員登録、ならびに、競技者登録を完了していること。

②会員登録、ならびに、競技者登録の加盟団体（都道府県）・クラブ名は、地域クラブ活動と異なってもよい。

③全日本スキー・スノーボード連盟はクラブなどの団体登録をおこなっていないので、地域クラブ活動としての登録は必要ない。

（オ）大会出場について

①地域クラブ活動の指導者、ならびに、選手は、都道府県予選大会から同一でなければならない。

②同一年度内に選手が登録できる地域クラブ活動は1クラブとし、地域クラブ活動への二重登録、ならびに、複数都道府県予選大会への出場は認めない。

③都道府県中学校体育連盟専門部の求めに応じ、地域クラブ活動は大会運営や県選手団運営に協力

すること。
④各都道府県予選大会を含む全国中学校体育大会へ参加する当該生徒の所属校長に、地域クラブ活動から書面で報告すること。(書式任意)
⑤クロスカントリーリレーについて
・以下の2つの要件を満たす場合は、地域クラブ活動の登録所在地の都道府県より参加することができる。
ａ「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」または登録メンバー全員が同一学校に在籍している場合。
ｂ 1団体から複数チームの参加は認めない。
（カ）都道府県をまたいだ大会参加については、以下の2つの要件を満たす場合は、地域クラブ活動の登録所在地の都道府県より参加することができる。
①「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」または、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」に在籍している場合。
②在籍している学校に希望する部活動がないこと等の場合において、都道府県中学校体育連盟が都道府県をまたいだ大会参加を認めている場合。
（キ）その他
①大会参加にあたり、上記細則に対して虚偽、違反、逸脱行為が発覚した場合は、各都道府県スキー専門部、ならびに、日本中体連スキー競技部で協議し、参加資格の取り消し、競技記録の抹消、次年度登録の禁止など、適当な処分を下す。
②都道府県中学校体育連盟スキー専門部ごとに、予選大会参加に関する細則を加えることができる。ただし、全国中学校体育大会参加にあたっては、このスキー競技部細則を遵守する。

③ 認定地域クラブ活動に所属する中学生
ａ 上記「②地域クラブ活動に所属する中学生」のａとｂに準ずる。
ｂ 認定地域クラブ活動を実施している市町村において、当該自治体に認定されていない地域クラブ活動は、参加を認めない。（認定制度開始日から２年間を猶予期間とする。）
ｃ 認定地域クラブ活動には「全国中学校体育大会地域クラブ活動の参加資格の特例各競技部細則」は適用されない。

（６）個人情報の取扱い（利用目的）
大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、（公財）日本中学校体育連盟「個人情報保護方針・規程」に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表（記録集）、動画配信、医療機関等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する各選手はこれに同意する。

11 参加人数枠、グループ（シード）、スタート順
（１）参加人数
各種目、各都道府県の参加人数枠は次のとおりとする。
参加人数枠＝基本人数＋前年度実績人数
①基本人数は、各都道府県ともアルペン競技男女各４名、ジャンプ競技男子４名・女子 10 名、クロスカントリー競技男女各６名とする。
②前年度実績人数については、次のとおりとする。
☆男子＝前年度 1 位～10 位・・・１名につき３名 11 位～20 位・・・１名につき１名
☆女子＝前年度 1 位～10 位・・・１名につき２名 11 位～20 位・・・１名につき１名
ただし、各種目とも各都道府県の最多参加人数枠は男子種目 15 名、女子種目 10 名とする。
③開催都道府県は、前年度実績に関わらず最多参加人数を出場させることができる。また、特別事項として、前年度実績において男子種目が最多参加人数である 15 名もしくは 14 名、女子種目が 10 名もしくは９名に達した場合、それぞれ２名まで参加人数を加えることができる。
男子種目：15 名の場合→参加人数枠 17 名 14 名の場合→参加人数枠 16 名
女子種目：10 名の場合→参加人数枠 12 名 ９名の場合→参加人数枠 11 名
④リレー種目の参加は、各都道府県とも男女１チームずつとする。
⑤正式申込後の選手交替およびランキングの変更は認めない。
⑥第 64 回大会の各都道府県の参加人数枠は次のとおり。

＜各都道府県参加人数枠＞

No.	都道府県	アルペン				ジャンプ				クロスカントリー					
		スラローム		Gスラローム		スペシャルジャンプ		ノルディックコンバインド		クラシカル		フリー		リレー	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1	北海道	9	10	15	10	14	10	11	10	15	10	15	10	1	1
2	青森	5	4	5	5	5	10	5	10	6	9	6	7	1	1
3	岩手	10	5	5	4	4	10	5	10	9	6	9	6	1	1
4	宮城	4	5	4	5	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
5	秋田	4	4	5	4	4	10	4	10	7	10	6	9	1	1
6	山形	11	5	8	5	4	10	4	10	7	6	6	6	1	1
7	福島	11	6	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
8	茨城	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
9	栃木	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
10	群馬	7	5	8	5	5	10	4	10	6	6	6	6	1	1
11	埼玉	4	6	4	5	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
12	千葉	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
13	東京	4	7	10	8	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
14	神奈川	4	5	8	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
15	山梨	7	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
16	長野	15	10	15	10	17	12	17	12	17	12	17	12	1	1
17	新潟	5	10	4	7	15	10	15	10	10	9	10	10	1	1
18	富山	4	4	4	6	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
19	石川	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	9	6	1	1
20	福井	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	9	6	1	1
21	静岡	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
22	岐阜	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	7	6	1	1
23	愛知	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
24	三重	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
25	滋賀	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
26	京都	4	6	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
27	大阪	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
28	兵庫	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
29	奈良	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
30	和歌山	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
31	鳥取	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
32	島根	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
33	岡山	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
34	広島	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
35	山口	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
36	徳島	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
37	香川	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
38	高知	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
39	愛媛	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
40	福岡	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
41	佐賀	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
42	熊本	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
43	長崎	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
44	大分	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
45	宮崎	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
46	鹿児島	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
47	沖縄	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
計		232	220	231	214	224	472	221	472	311	302	316	300	47	47
都道府県数		47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47

（２）グループ（シード）・スタート順

①前年度１～10 位の選手は、特別グループにシードする。
（女子スペシャルジャンプ・女子ノルディックコンバインドは１～６位）

②上記以外の参加者については、アルペン競技は５グループ、スペシャルジャンプ・ノルディックコンバインド・クロスカントリー競技は４グループに分けて抽選する。

③スタート順について、アルペン競技は、特→１→２→３→４→５グループの順、スペシャルジャンプ・ノルディックコンバインド・クロスカントリー競技は、１→２→３→４→特グループの順とする。

④アルペン競技におけるグループの出場枠は、次の計算による。

（ア）第１グループに入る各都道府県の出場枠は、前回と前々回の大会において、１位～15 位までに入った選手数を合計し、平均値を出す。
もし、平均値に小数点以下の端数が出たときは、すべて切り上げる。

（イ）第２グループも同様に、16 位～30 位までを計算する。

（ウ）第１・第２グループにおける各都道府県の最多出場枠は１グループ３名とし、これを超えた場合は、次のグループ（第３グループ）に入れる。

（エ）その他の選手については、第３～第５グループの３区分に編成する。

⑤参加人数枠より参加人数が少ない場合は、ルールに則りグループ分けをする。

12　参加料等

（１）　参加料は、参加選手１人につき 4,000 円とする。

（２）　参加料の他に、整備協力金として参加選手１人につき 3,000 円を徴収する。

（３）　参加料および整備協力金等は各都道府県一括で、申込と同時に下記口座に振り込むこと。

※振込依頼人名は、都道府県名が分かるものにする。
※振込手数料は自己負担とする。申込締め切り後の返金は一切行わない。
※参加料および整備協力金等に関する領収書は発行しない。
（振込金受取書（振込票）をもって、領収書に代える。）
領収書が必要な学校（チーム）がある場合は、参加料等を受領した各都道府県で対応する。

金融機関名：ながの農業協同組合　野沢温泉支所
店番号：5499－073　　口座番号：(普)0031048
口座名義：全国中学校スキー大会長野県実行委員会　塩崎　正昭

13　引率・監督

（１）　全中大会に出場するチーム・選手の引率・監督は出場校（チーム）の校長・教員・部活動指導員※１、地域クラブ活動の代表（指導）者とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、「参加申込書（書類番号⑪校長（代表者）承認書）」の監督欄に指示されている印を付け、必要事項を記入する。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。
※１→ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第 78 条の２に示されている者をいう。

（２）　全中大会では外部指導者をおくことができる。外部指導者は、出場校の校長が適切であると認めた者とし、「全国中学校体育大会引率細則による提出文書」の様式６「外部指導者確認書（校長承認書）」に必要事項を記入し、大会事務局に参加申込み時に提出する。ただし、当該校以外の中学校教職員は、外部指導者にはなれない。（地域クラブ活動は該当しない）

（３）　スキーの外部指導者は、同一人が複数校の外部指導者を兼ねることは差し支えない。

（４）　全中大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること、地域クラブ活動の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分等に該当していない者であることとしている。校長（代表者）はこの点を確認して、書類番号⑬「校長（代表者）承認書」を作成する。なお、外部指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

（５）　全中大会の参加について、校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合、「全国中学校体育大会引率細則」により、校長が適切であると承認した外部指導者に引率及び監督の資格を認める。※ただし、安易に引率者として外部指導者の引率を認めるものではない。

（６） 監督を他校の教員に依頼しなければならない場合、当該校の校長と当該中学校体育連盟競技専門部が協議し、当該校の校長が監督を引き受けた教員の校長と本人に文書で依頼する。この手続きは「全国中学校体育大会引率細則による提出文書」の様式７～11 をもって行う。ただし、依頼監督に引率資格はない。

14 表　彰

（１） 各競技種目１位～10 位まで（女子スペシャルジャンプ・女子ノルディックコンバインドは１位～６位）に賞状を、さらに１位～３位までに（公財）全日本スキー・スノーボード連盟よりメダルを授与する。

（２） クロスカントリー競技男女リレーの優勝チームには、文部科学大臣より盾及び（公財）日本中学校体育連盟よりトロフィーを授与する。

15 参加申込

（１）申込期限

【一次申込】

出場確認書（書類番号①、メールにて）：令和８年９月３０日（水）必着

宿泊一次申込（大会公式ＨＰの宿泊申し込みフォームより）：令和８年９月３０日（水）必着

【正式申込】

競技に関する正式申込（書類番号②～⑫、メールにて）：令和９年１月２０日（水）正午必着

（受付時持参書類の書類番号⑬⑭⑮の提出期限は、令和９年２月２日（火）とする）

宿泊に関する正式申込（メールにて）：令和９年１月１９日（火）正午必着

（２）申込先

大会要項 19 その他（６）に記載の【問い合わせ先（参加申込先）】を参照

（３）申込書類

【一次申込】

書類番号①はエクセルデータでメール添付にて提出ください。（期限9/30）

書類番号①　出場確認【一次申込】及びクロスカントリーテント持ち込み数調査

宿泊に関する一次申し込みは、ホームページからのフォームに入力してください。（期限9/30）

宿泊に関する一次申し込み

【正式申込】

書類番号②～⑩はエクセルデータでメール添付にて提出ください。（期限1/20）

書類番号②　出場確認書【正式申込】

③　各競技参加選手一覧

④　種目別申込書（GS・SL・SJ・NC・CC・CF）

⑤　種目別申込書（リレー）

⑥　選手団役員・監督・外部指導者・引率者名簿

⑧　プログラム・公式記録集申込一覧表【都道府県用】

⑨　申込金額一覧表

⑩　正式申込書類チェック表

書類番号⑪～⑫はpdfデータでメール添付にて提出ください。（期限1/20）

⑪　校長（代表者）承認書の確認書

⑪「校長（代表者）承認書の確認書」の提出をもって、エクセルデータに、氏名の文字、所属名、学年等に間違いがないものとして扱っていきます。

提出後は修正等の対応は、できません。

⑫　引率細則による提出文書（様式６）※外部指導者をおく学校のみ

⑫　引率細則による提出文書（様式７）※他校に監督依頼する学校のみ

⑫様式6・様式7ともに、地域クラブ活動で参加するチームは、提出の必要はありません。

書類番号⑬⑭⑮は来会時に書類にて持参の上、提出ください。（データでの提出は不要。期限2/2）

⑬　校長（代表者）承認書

⑭　学校の教育活動又は研究活動等であることの証明書

（地域クラブ活動で参加の場合に提出（中学校から出場の場合は提出不要））

⑮　認定地域クラブ活動等であることの証明書

（認定地域クラブ活動で参加の場合に提出（中学校から出場の場合は提出不要））

（４）申込方法　※申込はすべて申込責任者が代表して行うこと。

【一次申込】

（ア）書類番号①を大会事務局へメール送信する。郵送の必要なし。

（イ）クロスカントリー競技について、実行委員会からのテント、ストーブの有料貸し出しは行わない。（レンタル業者を斡旋する）各都道府県とも最大４張まで持ち込むことを認めるので持ち込みテント数を記入する。※現地に共用テントを設置予定

（ウ）宿泊一次申込（概数）は、大会公式ＨＰ宿泊関係内の「宿泊申し込みフォーム」より行う。

【正式申込】

（ア） 書類番号②～⑫を大会事務局にメールにて送信する。ただし、書類番号⑫は外部指導者をおく学校のみ様式６を、他校に監督依頼した学校のみ様式７をメール送信する。

（ウ） 書類番号⑬～⑮は、申込責任者が集約し、来会時に持参し提出する。（郵送やデータ送信は不要）

（エ） 書類番号④⑤「種目別申込書」のデータに基づいて抽選を行います。都道府県ランキングは必ず上位から記入すること。正式申込後の選手交替およびランキングの変更は認めない。

（オ） 書類番号⑪「校長（代表者）承認書の確認書」の提出をもって、エクセルデータに、氏名の文字、所属名、学年等に間違いがないものとして扱っていきます。提出後は修正等の対応はできません。

（カ） 書類番号⑦「参加料・整備協力金、プログラム・公式記録集申込一覧表【学校（チーム）用】」は、各校（各チーム）から都道府県申込責任者に集約し、そのまま保管ください。

（キ） 書類番号⑫様式６・様式７ともに、地域クラブ活動で参加するチームは提出の必要はありません。

（ク） 宿泊の正式申込は、宿泊事務局よりメールにて案内される様式に必要事項を入力の上、申込責任者が宿泊事務局へデータ送信する。

（ケ） 全国大会開催可能 13 道県（北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、群馬、新潟、富山、石川、岐阜、鳥取）は、大会運営役員として１名を選出する。出役者の報告や大会時の業務については、後日、大会事務局より案内します。

16　抽　　選

（１）日　　時　　令和９年１月２２日（金）10 時 00 分より

（２）会　　場　　野沢温泉村公民館

（３）抽　　選　　主催者及び開催地実行委員会の代表抽選とする。

17　諸 会 議

【組織委員会】

令和９年２月１日（月）15 時 00 分より　野沢温泉村公民館

【監督・コーチ会議】※出席者は各都道府県代表１名のみとします。

令和９年２月１日（月）16 時 00 分より　野沢温泉公民館（アルペン）

令和９年２月２日（火）　8 時 00 分より　野沢温泉シャンツェ（ジャンプ）

令和９年２月２日（火）13 時 00 分より　野沢温泉村公民館（クロスカントリー）

【スキー競技部会】

令和９年２月２日（火）16 時 30 分より　野沢温泉村公民館

18　宿　　泊

宿泊は別紙「宿泊要項」による。適切な危機管理対応（感染症・自然災害等）を確保するため、必ず大会実行委員会指定の業者を通して申し込むこと。（指定外の宿泊施設の利用は、原則認められない。）

※外部指導者が選手団として宿泊する場合は、書類番号⑥「選手団役員・監督・外部指導者・引率者名簿」に記載すること。

19　そ の 他

（１） 大会期間中の負傷・疾病に関しては、応急処置のみを行う。また、本大会は「独立行政法人日本スポーツ振興センター法」の定めを適用する。

（２） 上記の（１）とは別に対人補償を伴うスキー保険、スポーツ傷害保険、またはこれに準ずる保険に加入していること。

（３） 参加者は健康保険証を持参することが望ましい。

（４）本大会において代表となった選手が都道府県名を示すワッペン（記章）をレーシングスーツにつける場合は、次のとおりとする。

（ア）ワッペンの表記は漢字とし、都道府県名のみとする。

（イ）生地は白黒のみとする。

（ウ）字の色は黒もしくは都道府県カラーとする。
（エ）ワッペンのサイズは縦６ｃｍ、横 12ｃｍ以内とする。
（オ）一人１枚とする。

（５）来会受付は大会事務局（野沢温泉村公民館）において、以下の日時に行っています。やむを得ず時間外の受付となる場合はあらかじめ連絡をすること。
１月３１日（日）　８：００～１７：００
２月　１日（月）　７：００～　９：００および１４：００～１６：００
２月　２日（火）１２：００～１３：００

（６）問い合わせ先（参加申込先）
＜競技に関すること＞　※基本的に都道府県中体連事務局、競技部を通じて問い合わせること。
【大会事務局】開設時間 9：00～16：00

〒389－2502　長野県下高井郡野沢温泉村豊郷 9167 番地　野沢温泉村公民館内
全国中学校スキー大会　実行委員会事務局　　担当：清原　佳明
TEL：0269－67－0708（12 月以降）、0269－67－0383（11 月末日まで：野沢温泉中学校）
FAX：0269－85－2618（12 月以降）、0269－67－0384（11 月末日まで：野沢温泉中学校）
Ｅメール：nozawa.zenchu@gmail.com　　大会公式 HP：https://nozawazenchu.com/

＜宿泊に関すること＞　※基本的に都道府県選手団申込責任者を通じて問い合わせること。
【宿泊事務局】

〒389－2502　長野県下高井郡野沢温泉村豊郷 5043 番地 3
一般社団法人　野沢温泉マウンテンリゾート観光局　　全国中学校スキー大会　宿泊事務局
Ｅメール：travel@nozawakanko.jp